

News Release

各位

2025年1月23日

株式会社エナリス

フィジカル派？バーチャル派？ドッチモ派？ すべてを叶える「ハイブリッド・オフサイト PPA」登場

～2025年4月より提供開始～

株式会社エナリス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:都築実宏、以下、エナリス)は、企業向け脱炭素ソリューションブランド『eneGX(エネジーエックス)』の提供ソリューションとして、事業環境や市況に合わせて「フィジカル PPA」と「バーチャル PPA」の自由な切り替えが可能な「ハイブリッド・オフサイト PPA」をリリースします。提供開始は、2025年4月からの予定です。

【フィジカル PPA とバーチャル PPA】

オフサイト PPA は、企業や自治体などの法人と発電事業者が結ぶ、長期の再生可能エネルギー買い取り契約です。自社で発電設備を保有することなく、長期間にわたって再生可能エネルギーを確保することが可能になるため、導入する企業が増えている再生可能エネルギー調達手段です。近年重視される傾向にある“追加性”も認められています。

オフサイト PPA には、電力と環境価値を一緒に調達するフィジカル PPA と、環境価値のみを調達するバーチャル PPA の 2 種類があり、それぞれにメリット・デメリットがあります。

フィジカル PPA は、基本的に買い取り単価を固定するため、長期間、安定した価格で再生可能エネルギーを購入できるというメリットがあります。一方で、電力を伴う取引のため、需要拠点と紐づいた契約になり、発電拠点と需要拠点が同一エリアであるという縛りや、余剰電力が発生するリスクなどがあります。こうしたフィジカル PPA のリスクを軽減できるものが、バーチャル PPA です。環境価値のみを取引するバーチャル PPA は、電力の市場売却価格に応じた差金決済が生じるため価格の安定性に欠けますが、条件面の柔軟性が高く、拠点到縛られないことが魅力です。

【エナリスの「ハイブリッド・オフサイト PPA」】

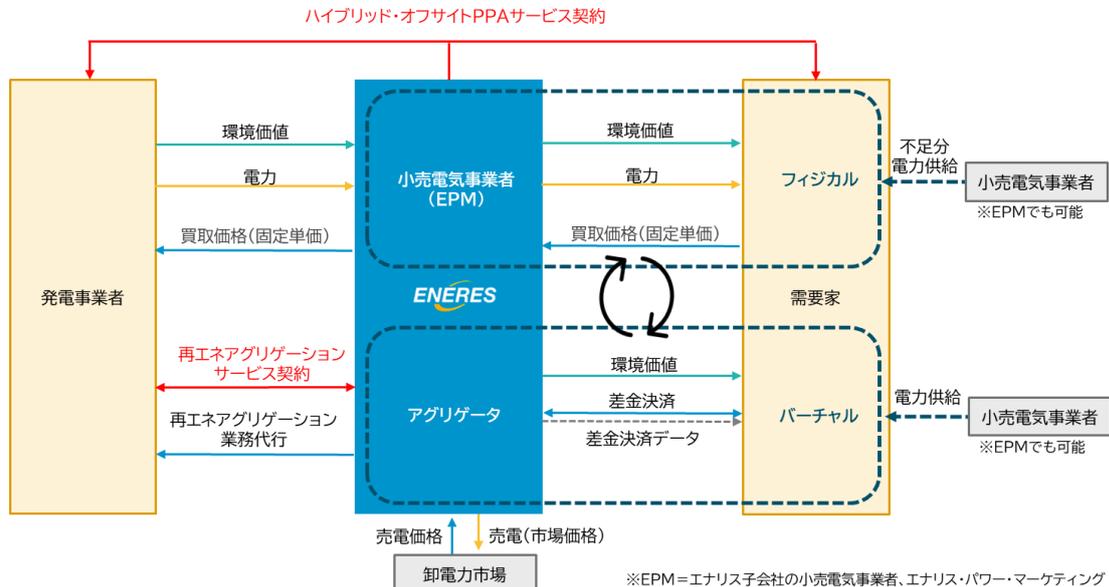
フィジカル PPA は、電力供給を伴うため小売電気事業者を介する必要があります。他方のバーチャル PPA は、法人と発電事業者が直接契約を結ぶことが可能ですが、差金決済や非化石証書移転等の煩雑な業務が必要になります。

今回提供を開始する「ハイブリッド・オフサイト PPA」では、各 PPA 契約で必要とされる業務にエナリスがまとめて対応することで、契約期間中の「フィジカル or バーチャル」の自由な切り替えを可能にしました。小売電気事業者(エナリス子会社のエナリス・パワー・マーケティング)とアグリゲータ、両方の機能を持つエナリスだからこそ提供できるソリューションです。

事業環境や市況により柔軟に調達手段を選択することができるため、オフサイト PPA 導入における最大のハードルである“長期契約”の不安を低減します。また、当初より包括的に契約することで、「オリジナルオフテイカーの維持」が可能となるため、RE100 を目指す企業の方

にもおススメです。

エナリスがアグリゲータとして発電事業者が必要とされる発電量予測などの運營業務や差金決済処理などを代行しますので、発電事業者にとってもメリットのあるサービスです。



【サービス概要】

サービス名称	ハイブリッド・オフサイト PPA サービス
提供開始時期	2025年4月提供開始予定
提供エリア	全国(沖縄・一部離島除く)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用企業、発電事業者、エナリスで結ぶ長期間の再生可能エネルギー買い取り契約 ・ 利用企業は、契約期間中、フィジカル PPA とバーチャル PPA を市況や事業環境に合わせて切り替えることが可能 ・ 発電事業者は、バーチャル PPA で必要となる運營業務が不要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィジカル PPA・バーチャル PPA のいずれの場合も、エナリスで(不足分の)電力供給を行うことが可能です

エナリスは、ハイブリッド・オフサイト PPA サービスの提供を通し、再生可能エネルギー主力電源化および脱炭素社会の実現に貢献します。

《ハイブリッド・オフサイト PPA に関する企業の方のお問い合わせ先》

E-mail: easervicesite2@eneres.co.jp